

農業経営者の皆様へ！

自然災害に備えて 農業版BCPを作成してみましょう！

BCP（事業継続計画）とは、自然災害などの緊急事態が発生した場合、人員、電気、水、資金等が足りなくなることが想定される中で、どの仕事を優先して続けるか、どうやって再開するか、ということをおあらかじめ決めておく計画のことです。

BCPは決して難しいものではなく、経験として既に備わっていることも少なくありません。計画として文字に落とし込むことで、従業員との共有や、普段の経営の見直し・改善にも繋がります。

農林水産省では、自然災害等のリスクに備えるためのチェックリストを作成しています。チェックリストには「リスクマネジメント」と「事業継続」の2種類のシートがあり「事業継続」の項目ごとに必要な内容を記載すると、ご自身で簡易的な農業版BCPが作成できます。



① 日頃からのリスクへの備え、台風等襲来の際の直前対策のために！

○チェックリスト「リスクマネジメント」

自然災害等のリスクに対して、防災・減災の観点から備えておくべき項目についてチェックします。

(項目の例)

- ❑ 災害時の停電に備え、非常用電源などを確保していますか？
- ❑ トラクターやコンバイン等の農業機械を高台や屋内へ移動させましたか？

リスクマネジメント		自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト		評価	
事業名	チェック実施日	項目	内容	YES	NO
リスクの把握		1	自身の経営活動における、自然災害、その他のリスク（新型コロナウイルス感染症）とその影響について考えられているかどうか？	☐	☐
		2	自身の地域の自然災害リスクについてハザードマップを確認しているかどうか？	☐	☐
		3	新型コロナウイルス感染症について、「農業従事者に対する新型コロナウイルス感染症発生時の対応」及び事業継続に関する基本的なガイドライン」等のガイドラインを確認しているかどうか？	☐	☐
リスクの軽減		4	地方自治体等を通じて発信される気象情報や防災情報を確認しているかどうか？	☐	☐
		5	非常時の災害対策、避難方法等について、「農業従事者の基本指針」等のマニュアルの参照、研修の受講などを進め、知識を身に付けているかどうか？	☐	☐
		6	災害時の停電に備え、非常用電源などを確保しているかどうか？	☐	☐
リスクの対応		7	被害発生、非常用電源等の故障、設備の保守点検、また他人に被害や被害後の対応を求めていますか？	☐	☐
		8	被害発生時の対応、また他人に被害や被害後の対応を求めていますか？	☐	☐

② 被災後の復旧・事業継続のために！

○チェックリスト「事業継続」

被災後の事業継続の観点から、ヒト・モノ・カネ・セーフティーネット等、事前に想定しておくべき事項についてチェックします。

(項目の例)

- ❑ 収入保険の補償内容を理解するとともに加入していますか？

事業継続		自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト		評価	
事業名	チェック実施日	項目	内容	YES	NO
基本方針の策定		1	災害発生時の基本方針を定めていますか？	☐	☐
		2	事業継続計画において「優先順位」を定めていますか？（重要業務）は決まっていますか？	☐	☐
		3	事業継続計画の目標と現状を明確にしていますか？	☐	☐
リスクの軽減		4	電気・水道（農業用水含む）、ガスに支障が生じた場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐
		5	道路、交通網に支障が生じた場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐
		6	関係機関との連携が図れない場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐
リスクの対応		7	関係機関との連携が図れない場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐
		8	関係機関との連携が図れない場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐
		9	関係機関との連携が図れない場合に、農業従事者への影響とその対応（代替手段）を想定していますか？	☐	☐

○農業版BCP（事業継続計画）

チェックリストの各チェック項目に、ご自身の経営に合わせた具体的な内容を当てはめると、農業版BCPが作成されます。

（農林水産省ホームページに掲載しているEXCEL版のチェックリストを活用すると作成がスムーズです。）

農業版BCP（事業継続計画）		評価	
項目	内容	評価	評価
1. 基本方針			
1-1	基本方針の策定		
1-2	基本方針の策定		
2. 事業継続計画の策定			
2-1	事業継続計画の策定		
2-2	事業継続計画の策定		
3. インフラ等の被害による事業継続への影響と対応（代替手段）			
3-1	インフラ等の被害による事業継続への影響と対応（代替手段）		
3-2	インフラ等の被害による事業継続への影響と対応（代替手段）		
4. 関係機関との連携			
4-1	関係機関との連携		
4-2	関係機関との連携		

③ 定期的・継続的な見直し

農業版BCPを上手く機能させるため、少なくとも年に1回は見直しを行い、備えが十分か確認しましょう。

農業版 B C P を作成してみましょう！

農業版事業継続計画書

簡易版

策定・改定日

従業員・家族共有日
(原則策定・改定日から1ヶ月以内)

次回改訂予定日
(原則1年毎に改訂)

1. 基本方針

「人命を守る」「農産物の供給責任を果たす」等、緊急時にあなたが最も優先することは何ですか？

緊急事態発生時には、以下の基本方針に則り対応する。

1

2

3

2. 重要業務と目標復旧時間

「水やり」「搾乳」等、いち早く復旧しなければいけないことは何ですか？

以下の業務の復旧を最優先とし、目標復旧時間内の復旧を目指す。

重要業務

目標復旧時間

3. インフラ等の被害による重要業務への影響と対応(代替手段等)

インフラが止まったときに対応できますか？

種別

影響

対応(代替手段等)

電気

ガス

水道(農業用水含む)

情報通信

交通

ほ場等

その他

4. 事前対策の実施状況

自然災害に備えて、普段からどんな対策ができますか？

分類

項目

ヒト

モノ

カネ

セーフティネット

情報

地域連携

5. 緊急時の体制

統括責任者(代理者)

事業継続担当責任者(代理者)

【初動対応フェーズ】(目安:緊急事態発生～24時間以内)

○状況確認

確認対象

担当者

役員・従業員

建物・設備

その他事業資源

取引先

インフラ

その他

○備蓄品の状況

救急箱

飲料水

食料

ヘルメット

○出勤・帰宅ルール

状況

原則ルール

出勤時

在宅時

その他

【事業継続フェーズ】(目安:初動対応完了後～)

○重要業務継続の具体的方法

対応手順

担当者

BCP策定後の運用

日頃から緊急時における対応を家族や雇用者と話し合ったり、実際に訓練を行っておくことが重要であり、そうすることで緊急時における各人の行動が明確になり、復旧までの時間を短縮できます。また、「1年に1回は見直す」「策定したら1ヶ月以内に皆で確認する」などルールを決めて、運用を心掛けることが重要です。

パンフレットや様式は農林水産省HPからダウンロードできます▶https://www.maff.go.jp/j/keiei/maff_bcp.html